

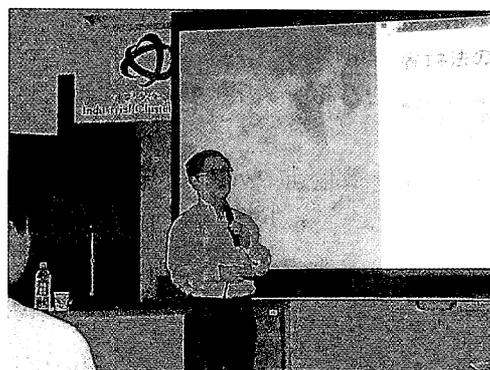
平成20年度『九州環境クラスター大学』開講

(財)九州産業技術センター及び九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)は、次世代の環境・リサイクル産業のビジネスリーダーの育成を目的とした人材育成プログラム「平成20年度九州環境クラスター大学」を平成20年8月26日(火)～29日(金)に宮崎県延岡市行滕町むかばき青少年自然の家にて開催致しました。

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)は、環境・リサイクル分野において、他地域にない九州独自の取り組みを積極的に行っていることが評価され、平成13年度から経済産業省が実施している地域経済活性化のための施策「産業クラスター計画」の全国19プロジェクトの中の1つとして選定され、今回の「九州環境クラスター大学」はこの「産業クラスター計画」の補助金を受けて昨年を引き続いて実施致しました。



(花嶋塾長挨拶)



(福岡大学法学部 浅野教授講演)

環境関連産業に携わる企業、行政及び大学生45名の受講生が集い、3泊4日の泊まり込みで講義・企業視察・ゼミ形式でのグループ演習等の研修を行いました。

北海道洞爺湖サミットにおいて地球温暖化問題に対する取り組みの重要性が共有され、わが国も低炭素社会に向けて率先し取り組んでいくことが求められています。そこで中央環境審議会委員でもある福岡大学浅野直人教授に「低炭素社会構築に向けた法制度」と題して国の進むべき方向について講演頂きました。又大学や環境関連産業の第一線で活躍されている企業の経営者や経験者を講師及びパネラーとして招き、現場の声を聞かせることにより受講生の環境問題を解決させる意欲を喚起させることができましたものと思います。

特別講演会はK-RIPの副会長である旭化成(株)のご協力により、旭化成向陽倶楽部ホールにおいてオープンセミナーとして開催致しました。講師には(株)クオナムリープ代表取締役(元ソニー会長兼CEO)出井氏をはじめ旭化成(株)上席執行役員 延岡支社長水永氏、経済産業省産業技術環境局環境政策課長田中氏、(株)麻生代表取締役(K-RIP会長)麻生氏をお招きしました。中でも元ソニー会長の出井氏やK-RIP会長麻生氏にリーダーシップやグローバル経済の俯瞰の視点等のご講演を頂き受講生にとっては、貴重な講演となりました。



(株)クオナムリープ代表取締役 出井氏特別講演)

企業視察では、佐藤焼酎製造場㈱（バイオマス・リサイクル）、旭化成クラレメディカル㈱（中空糸膜・透析器具）、旭化成エヌエスエネルギー㈱（バイオマス・エネルギー）、㈱黒田工業ひゅうがリサイクルセンター（リサイクル複合施設）の4社の見学を行いました。

実際に環境に取り組んでいる企業を見学できたことで、環境問題解決の難しさと前向きに取り組んでいくことの重要性を体験することができたものと思います。

グループ演習においては、各グループで事前に決められたテーマに従ってグループ内で議論を行い、最終日のグループ発表の形でまとめました。議論は深夜まで或いは夜を徹して行われ、白熱した光景が見られました。このような共同作業をすることで、受講生間のネットワークが形成され、このことが新たな環境・リサイクル産業の人材育成・振興につながるものと期待しています。



(Dグループの皆さん)



(麻生会長とグループ演習)

最終日には受講生がグループ演習の結果を発表し、K-RIP戦略会議委員長 吉田哲雄氏、K-RIP国際ビジネス部会長 坂田昌己氏より講評を頂きました。また、各グループのコーディネーターからグループの中でよく頑張った受講生が1名選ばれ、優秀者として表彰されました。また優秀なグループの表彰も併せて行われました。（優秀グループの選定に当たってはそれぞれ甲乙つけ難く講評者が大いに悩まれました）

今回の「九州環境クラスター大学」の受講生のアンケートから

- ・異業種、年齢も、地域（九州以外の方々）も異なる人達と色々な視点で議論出来て大変参考になった。
- ・グループ演習は不安もあったが終わってみれば非常に良い経験になった。
- ・環境問題だけでなく、リーダーシップについても学ぶことが出来、これからの人生を考えていく上で大変役に立った。

などの声が聞かれ、全体として、好評でした。

一方、

- ・メニューが多すぎ、スケジュール詰め込みすぎ。
- ・もっと交通の便のよいところ、携帯電話の繋がる場所がよい。

など次回開催する場合の課題となる意見も聞かれました。



(受講生全員での記念写真)

平成20年度九州環境クラスター大学 カリキュラム

1日目	2日目	3日目	4日目
8月26日(火)	8月27日(水)	8月28日(木)	8月29日(金)
	事例2 (8:30~9:30) テーマ:CO2排出削減ビジネス 地球温暖化防止ビジネスの動向 ~CO2削減ソリューションの取組~ (株)リサイクルワン 取締役 本田 大作氏	事例4 (8:00~10:00) テーマ:バイオマスと農業 ~ソーシャルビジネスとしての取組~ (コーディネーター) エコテック/2008事務局 SINK代表 古賀 敦之氏 (パネリスト) ・鹿児島大学農学部准教授 寺岡 行雄氏 ・北海道本別町企画振興課長 川本 秀二氏 ・福岡市農林水産部副参事兼農林課長 浦田 正一氏	グループ演習④まとめ (9:00~10:00)
	事例3 (9:30~11:30) テーマ:中国環境ビジネス ~参入の課題と対策~ (コーディネーター)(有)アジアビジネスコンサルタント 代表取締役社長 古森 政基氏 (パネリスト) ・日鉄環境エンジニアリング(株) 環境テクノ事業本部技術部長 佐倉 克彦氏 ・(株)アステック入江 取締役FM事業部長 鐘ヶ江 繁光氏 ・北九州市立大学 国際環境工学部教授 松本 亨氏 昼食 (11:30~12:30)	企業視察 (バス) (10:00~19:00) 10:45 ①佐藤焼酎製造場(株) /バイオマス・リサイクル 昼食 (12:00~13:00)	グループ演習発表 (各チーム20分) (10:00~12:00)
13:20 延岡駅集合	バス移動	13:15	昼食 (12:00~13:00)
バスにて会場へ移動	(旭化成向陽倶楽部ホールへ)	13:15	講評、表彰 (13:00~13:40) K-RIP情報交流部会副部会長 (株)ワビエム代表取締役会長 吉田 哲雄氏 K-RIP国際ビジネス部会長 (麻生鉱山(株)代表取締役社長) 坂田 昌己氏
14:00 受講生集合	来賓挨拶 (13:30~13:40) 九州経済産業局長 橘高 公久氏	14:45	閉校式 (13:40~14:00) 14:00 解散 バスにて延岡駅へ送り
オリエンテーション (14:30~15:00) ・塾長挨拶(花嶋顧問) ・諸注意事項説明	特別講演 (13:40~14:40) アジアの中の九州について (株)クオナムリープ代表取締役 (元ソニー会長兼CEO) 出井 伸之氏	14:45	
講義1 (15:00~16:30) 低炭素社会構築に向けた法制度 福岡大学法学部 教授 浅野 直人氏	特別講演 (14:40~15:40) 旭化成の事業開発と環境への取組 旭化成(株)上席執行役員 延岡支社長 (K-RIP副会長) 水永 正憲氏	16:15	
事例1 (16:30~18:30) テーマ:宮崎の産官学連携 ~連携の課題と対策~ (コーディネーター) (財)宮崎県産業支援財団 クラスタマネジャー 高橋 保雄氏 (パネリスト) ・大山食品(株) 代表取締役 大山憲一郎氏 ・和光コンクリート工業(株) 代表取締役 金丸 和生氏 ・(株)ヨフルトフィード 代表取締役 永崎 収一氏	特別講演 (15:50~16:50) 洞爺湖サミット後の環境政策について 経済産業省産業技術環境局 環境政策課長 田中 繁広氏 特別講演 (16:50~17:30) 次世代の九州リーダーについて (株)麻生 代表取締役 (K-RIP会長) 麻生 泰氏 自由行動 (17:30~18:00) ※隣接する旭化成展示室をご覧ください。	②旭化成クラレメディカル(株) /中空糸膜・透析器具 ③旭化成エヌエスエナジー(株) /バイオマス・エネルギー ④(株)黒田工業 ひゅうがリサイクルセンター /リサイクル複合施設 (※時間があれば) 18:30 ⑤ひでじビール醸造所 /地域資源活用	
グループ演習① (18:30~19:30) 顔合わせ & 発表テーマ検討	グループ演習② (19:30~22:00)	夕食 (19:00~19:30)	
親睦交流会 (19:30~21:00)	グループ演習③ (19:30~22:00)	夕食 (18:30~19:30)	

※2日目(8月27日)の午後は、旭化成向陽倶楽部ホールで一般聴講可能なオープンセミナー(約100名)での授業。

グループ演習			
コーディネーター			
Aグループ「バイオマスリサイクルビジネス」担当	・ ・	鹿児島大学 農学部	寺岡 行雄 准教授
Bグループ「アジア環境ビジネス」担当	・ ・	北九州市立大学 国際環境工学部	松本 亨 教授
Cグループ「CO2排出削減ビジネス」担当	・ ・	長崎大学 環境科学部	中村 修 准教授
Dグループ「環境コミュニティービジネス」担当	・ ・	滋賀県立大学 環境科学部	(遠藤 はる奈 助手) 鵜飼 修 准教授

環境省循環型社会地域支援事業に採択される ～みやま市シルバー人材センター～

みやま市シルバー人材センターは平成20年度環境省循環型社会地域支援事業に採択されました。

みやま市シルバー人材センターは地域内における剪定事業を行っています。剪定したあとの木屑を粉砕し、土地改良材として販売を行っていましたが、木屑の貯蔵方法や改良材としての品質等の課題があり、K-RIPに専門家派遣の依頼をいたしました。K-RIPは専門家の派遣を実施し、剪定した木屑の循環型活用の事業モデルの提案をしました。今年度環境省循環型社会地域支援事業に公募し、見事に採択されました。

みやま市シルバー地域循環型支援事業の概要

[事業の目的]

剪定・草刈作業で発生した剪定くず等を粉砕すりつぶすことにより出来た基材を多様に活用し地域に還元します。ダンボールコンポストの堆肥づくりを通じて、環境意識の高揚・市の活性化・街づくり、人の和の循環を目指します。

[事業の具体的内容]

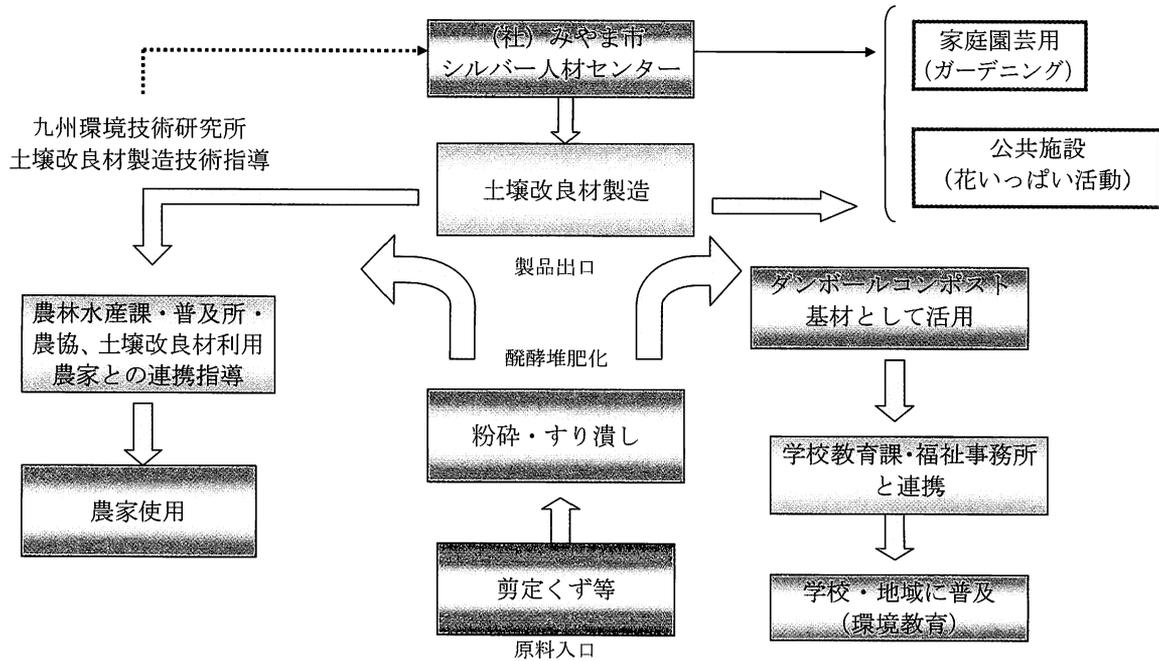
- ア. 剪定くず等を土壌改良材化し、市が推進している循環型農業に貢献する。
- イ. 粉砕すり潰した基材を、ダンボールコンポスト堆肥づくりに活用し、給食残飯を使った堆肥づくりで人材センターの高齢者と児童との交流を図る。
- ウ. 剪定くずを燃やさないことで、市の焼却費用の削減並びに温暖化防止に貢献。



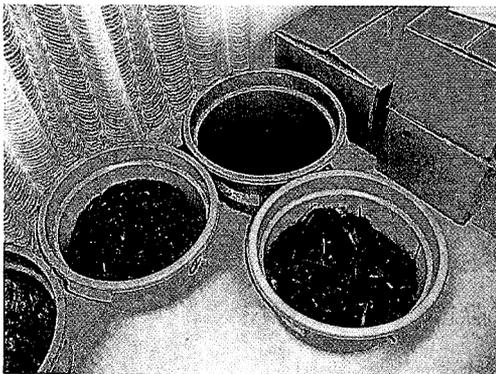
(みやま市シルバー人材センター)

土壌改良材・ダンボールコンポスト基材としての活用

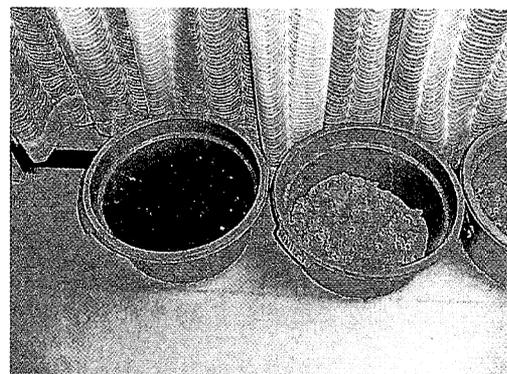
剪定くず等の土壌改良剤・発酵堆肥製品づくり事業フォロー図



写真：剪定木くずサンプル



(木くずサンプル1)



(木くずサンプル2)

好評な『エコ塾』開講中

九州経済産業局及び九州地域環境・リサイクル産業交流プラザでは環境分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的とした、「エコ塾」を昨年から実施しています。

「エコ塾」は、誰でも自由に参加でき、毎回2社の環境関連に取り組む企業のプレゼンテーションと、立食形式での交流会の2部形式で行っています。

今回は第14回から第16回までのエコ塾の報告を致します。

第14回エコ塾

【開催日時】平成20年7月2日(水)

講演会 17:00～18:00(交流会18:00～19:30)

【開催場所】九州経済産業局 第二・三会議室(福岡合同庁舎6階)

(交流会:福岡合同庁舎 新館 喫茶店ポンテディエーチ)

【参加者】42名

【第1プレゼンテーション】

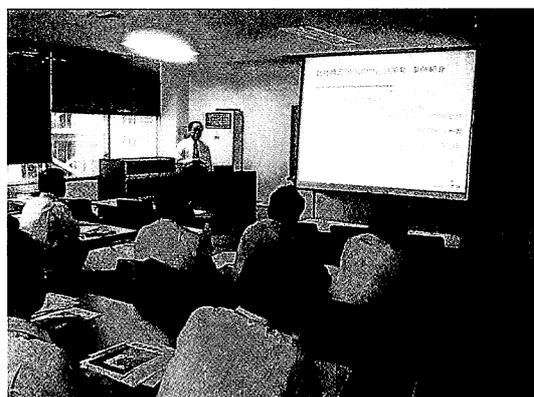
講演者:株式会社シグマ 省エネESCO推進営業開発
リーダー 池上 敏昭

講演テーマ:省エネ・節電119番ー九州の省エネ屋さん
～エネルギーサービスの新しい展開～

講演概要:昭和42年電気工事会社として創業。昭和57

年に「脱下請け」という大方針を決定し、省エネ・省コストビジネスに取り組み、ファン・ポンプの省エネ制御盤、自社商品「IKECON」の開発や省エネ調査や省エネの総合提案で、主に佐賀県、福岡県を中心に九

州などで約300件以上省エネの施工実績があり、またESCO事業として佐賀市の文化会館の省エネ改修事業を手がけ、二酸化炭素の排出量削減に貢献しています。現在、「省エネ・節電の119番“シグマ”」を標榜し、九州で中心的な省エネ事業者として、また九州を拠点としたESCO事業者として、エネルギーサービスの新しい展開も考えています。



池上敏昭氏のプレゼンテーション

【第2プレゼンテーション】

講演者:農事組合法人エヌチキン 代表理事 徳満 義弘

講演テーマ:化学粉砕による「多機能羽毛」のエコの資源活用

講演概要:国産の蛋白源として貴重な役割を果たしている鶏も、食肉加工時に排出される諸々の副生成物はこれまで再利用がうまくなされていませんでした。

その再利用第一弾として取り上げた鶏羽は、組織構造が中空であるがゆえに種々の多機能(軽量、強靱、断熱、遮音、吸油など)を持ちながら、粉碎方法の難しさから用途開発が諦められていた。

しかし、今回鶏羽加工に化学粉碎法を取り入れることにより、大量且つ容易に製品化できることが判り、再利用開発に着手していることをお伝えいたします。



徳満義弘氏のプレゼンテーション

第15回エコ塾

【開催日時】平成20年8月6日(水)

講演会 17:00~18:00(交流会18:00~19:30)

【開催場所】九州経済産業局 第二・三会議室(福岡合同庁舎6階)

(交流会:福岡合同庁舎 新館 喫茶店ポンテディエーチ)

【参加者】41名

【第1プレゼンテーション】

講演者:西鉄グリーン株式会社 工事部 主任 山本 誠

講演テーマ:ヒトと地球環境に優しいエコ仕様

グリーンコスモ工法

講演概要:昔から誰もが頭を悩ませてきた除草作業。この厄介な問題を解決し、緑化を進める工法が強い繁殖力と法面保護効果を持つヒメイワダレ草を使ったグリーンコスモ工法です。

ヒメイワダレ草が地表を覆いつくすことで他の雑草を近づけず、地表および法面を保護するだけでなく、小さくかわいい花が美しい景観を作り出し、イメージアップにもつながります。

また、使用する材料も自然に分解されるエコ商品であり、これこそ現代に最適な緑化工法です。



山本誠氏のプレゼンテーション

【第2プレゼンテーション】

講演者:NPO法人 伊万里はちがめプラン

理事長 福田 俊明

講演テーマ:市民主導による食資源の循環活動

講演概要:市民や飲食店、ホテル、農家の有志によって生ごみの堆肥化、廃食油の燃料化を行ない、環境保全型農業・菜の花プロジェクト活動等、バイオマス有効活用を展開しています。



福田俊明氏のプレゼンテーション

地域の食資源を循環させ、安心安全な農産物や新エネによる地域活性化と温暖化防止活動を市民、大学、企業、行政との協働で実践しております。

第16回エコ塾

【開催日時】平成20年9月3日(水)

講演会 17:00～18:00(交流会18:00～19:30)

【開催場所】九州経済産業局 第二・三会議室(福岡合同庁舎6階)

(交流会:福岡合同庁舎 新館 喫茶店ポントディエーチ)

【参加者】43名

【第1プレゼンテーション】

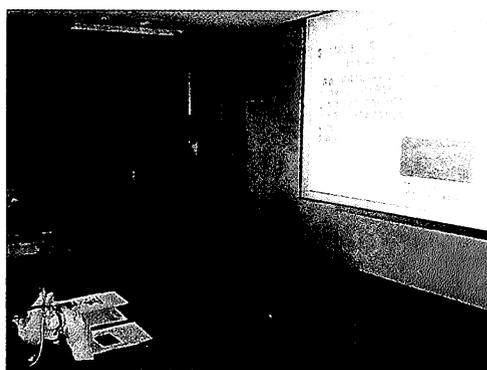
講演者:財団法人 西日本産業貿易コンベンション協会 事業第三課長 古賀 敦之

講演テーマ:まちが元気になる環境ビジネス

～社会起業家のススメ～

講演概要:社会の課題をビジネスで解決する起業家、いわゆる社会起業家が日本各地で注目を浴びている。環境分野は、地球温暖化やごみの資源化など、社会の課題があふれている。

こうした社会の課題を解決しようとするユニークなビジネスモデルが、どのように構築されたのか?コミュニティから生まれた環境ビジネスの源泉を探り、地域で愛される企業とは何かを考えます。



古賀敦之氏のプレゼンテーション

【第2プレゼンテーション】

講演者:株式会社フコク 取締役会長 古賀 逸雄

講演テーマ:自動車業界に於けるリサイクルについて

講演概要:弊社は、自動車の内装材や介護用マットレスを製造・加工する過程に排出し、処分されていたポリエステル不織布の端材を元の原料に戻すことなく再生する自動車用床下吸音材製造について製造技術確立しました。

従来、この端材は繊維の長さが短くなるので、リサイクルとして使用することは困難で、産業廃棄物として処理されてきました。そこで、弊社では九州大学や東大阪の企業等との産学官連携を生かした研究・開発によって、端材をリサイクルすることに成功致しました。製品の自動車用床下吸音材は、トヨタ自動車九州(株)の国内最高級車であるレクサスにも導入されております。



古賀逸雄氏のプレゼンテーション

「2008年環境未来国際公開講座シリーズおよび環境技術交流会」開催される

K-RIPは福岡大学環境未来オフィス 福岡大学環境科学技術研究所と共同主催で「2008年環境未来国際公開講座シリーズおよび環境技術交流会」を開催いたしました。

九州で開催される本公開講座シリーズの目的は気候変動や水資源管理に関するローカルな情報を広報することであり、産学官からの専門家による提案を呼び掛けます。この講座の中で、K-RIPは「環境技術交流会」として会員企業のプレゼンを行いました。

【第1回開催】

1. 開催日：平成20年6月20日(金) 14時～17時
2. 会場：ハイアット・リージェンシー・福岡（福岡市博多区博多駅東2-14-1）
3. 参加者：90名

4. 開催概要：主催者挨拶でクラスターマネージャー飯塚誠氏から「新しい環境の風を九州から」と題して「K-RIPの九州地域での取り組みの紹介」がありました。

そのほか、福岡大学衛藤学長による基調講演が行われました。又、海外からの招待講演として、UBC施設担当准副学長付顧問 マークモンロー氏による「キャンパスの持続性と気候変動に関する大学の指導力」について講演がありました。

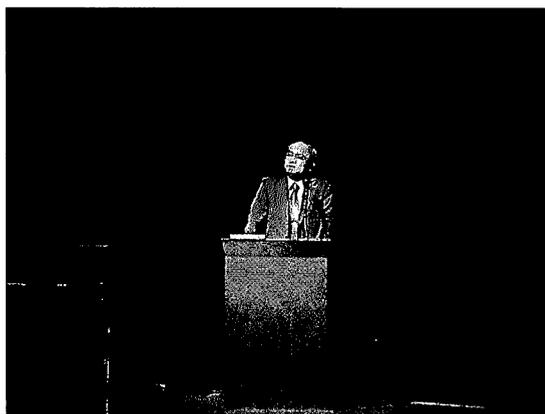


〔K-RIP飯塚氏の講演〕

【第2回開催】

1. 開催日：平成20年7月18日(金) 14時～17時30分
2. 会場：アクロス福岡円形ホール（福岡市中央区天神1-1-1）
3. 参加者：87名

4. 開催概要：主催者挨拶および基調講演でK-RIP会員企業の日鐵運輸(株)常務取締役川崎順一氏による「北九州エコタウン事業の経験から展望する今後の環境ビジネス」と題して、北九州エコタウンの歩みと環境ビジネスの今後のあり方についての講演がありました。そのほか招待講演として大分大学学長 羽野忠氏およびノースウエスタン大学教授 キンバリーA. グレイ氏の講演が行われました。



〔日鐵運輸(株)川崎順一氏の講演〕

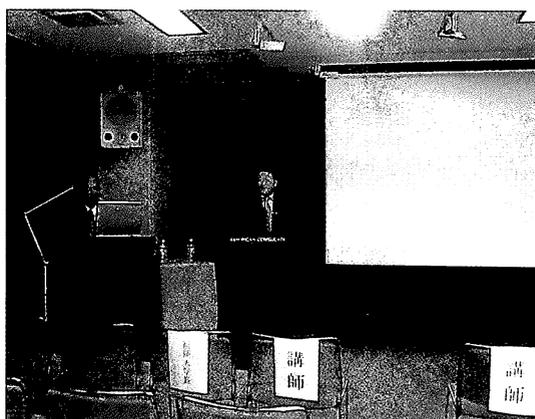
【第3回開催】

1. 開催日：平成20年8月11日(月) 14時～17時
2. 会場：福岡アメリカン・センター
(福岡市中央区天神 2-2-67 ソラリアパークサイド・ビル 8F)

3. 参加者：63名

4. 開催概要：環境技術講演でK-RIP会員企業の(株)ワイビーエム代表取締役会長吉田哲雄氏よりテーマ「(株)ワイビーエムの土壌地下水浄化技術について」の中で、自社の環境に対する取組みの紹介がありました。

そのほか、主催者挨拶で福岡大学法学部教授ステファニーA. ウェストン氏、基調講演ではアメリカ大使館経済担当カウンセラーのロバートセクタ氏の講演がありました。



【(株)ワイビーエム会長吉田哲雄氏の講演】

【第4回開催】

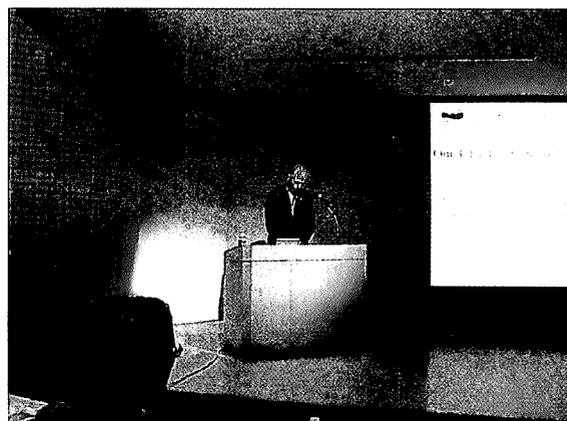
1. 開催日：平成20年8月29日(金) 13時30分～17時30分
2. 会場：北九州国際会議場国際会議室 (北九州市小倉北区浅野 3-9-30)
3. 参加者：106名
4. 開催概要：K-RIP副会長環境テクノス(株)代表取締役 鶴田暁氏による主催者挨拶がありました。また環境技術講演会で(株)アステック入江取締役FM事業部長鐘ヶ江繁光氏、光和精鉱(株)取締役開発部長城戸繁光氏等の講演が行われました。そのほか、基調講演は北九州市環境局環境首都担当部長松岡俊和氏、招待講演ではノースウエスタン大学准教授ジャンフランソアガイヤール氏など多彩な講師陣による講演がありました。

【第5回開催】

1. 開催日：平成20年9月12日(金) 13時30分～17時30分
2. 会場：石橋文化会館小ホール
(久留米市野中町 1015)

3. 参加者：71名

4. 講演概要：環境技術交流会でK-RIPクラスターマネージャー飯塚誠氏から「新しい環境の風を九州から～K-RIPの九州地域での取り組みの紹介～」と題してK-RIPの活動や成功事例の紹介がありました。そのほか企業側から(株)ネクファー研究開発部長ノラスコヒポルトシリロ氏や(株)エコジェノミクス代表取締役草野輝彦氏をはじめ基調講演に(株)ブ



【カナダ・ブリティッシュコロンビア州政府代表アブロムサルスバーク氏の講演】

リヂストン久留米工場総務部長藤富成樹氏、招待講演はカナダ・ブリティッシュコロンビア州政府事務所代表アブロムサルスバーク氏の講演が行われました。

「エコテクノ2008」におけるK-RIP主催事業のご案内(2008年10月22日～24日)

10月22日(水)～24日(金)の日程で北九州市の西日本総合展示場において、西日本最大の環境見本市「エコテクノ2008」(<http://www.eco-t.net/>)が開催されます。

K-RIPでは、例年、このエコテクノ開催にあわせて様々なイベントを主催しているところですが、今年度はアジアとりわけ中国の環境関連市場の動向に関するシンポジウムやセミナー、中国・韓国企業との商談会を開催する予定ですので、以下のとおりご案内します。(全て参加費無料)

皆様方の積極的な参加申し込みをお待ちしております。

また、これらのイベントの他にも、K-RIP会員企業が関係するプレゼンやセミナーが多数開催され、また、K-RIPブースや会員企業のブースも多数出展いたしますので、多数のご来場をお待ちしております。

なお、中国(大連市)環境関連企業との商談会(※昨年から実施しているジェットロRIT事業の一環)については、来日企業の概要などが現時点で未定ですので、詳細が決まり次第、改めて本ホームページ上でご案内します。

【エコテクノにおけるK-RIP主催事業】※()は、エコテクノ2008のイベント整理番号。

「九州・アジア環境ブランドシンポジウム」(A-2)

■日時:平成20年10月22日(水) 13:00～17:00

■場所:アジア太平洋インポートマート(AIM)3F 311会議室

■主催:九州経済産業局、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)、(財)西日本産業貿易コンベンション協会

※詳細はK-RIPホームページをご参照ください。

「中国環境ビジネスセミナー」(B-2)

■日時:平成20年10月23日(木) 10:30～12:30

■場所:アジア太平洋インポートマート(AIM)3F 314会議室

■主催:九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)

※詳細はK-RIPホームページをご参照ください。

「九州・アジア環境ブランドシンポジウム」及び「中国環境ビジネスセミナー」の聴講をご希望の方は、以下のURLからお申し込みください。

【エコテクノ2008申込みフォーム】

<http://www.eco-t.net/mousikomi/mousikomi2008.html>

「九州・韓国環境ビジネス商談交流会」(C-5)

K-RIPでは、昨年11月に韓国産業団地公団 ECO 事務局と友好交流協定(MOU)を締結し、相互の産業交流を活性化していくことになりましたが、今回、その一環として、エコテクノ2008にあわせて、18社・1大学から総勢31名の商談ミッション団が韓国から来日することになりました。

つきましては、別紙「韓国商談企業リスト」をご覧いただき、面談を希望する企業がございましたら、別紙「申込フォーム」に必要事項をご記入の上、**10月17日(金)必着**でK-RIP事務局までメールもしくはFAXにてお申し込みください。事務局にて、面談時間の調整の上、再度ご連絡させていただきます。

■日時:平成20年10月24日(金) 10:00～12:00

■場所:西日本総合展示場新館 プレゼン会場A(エコテクノ2008会場内)

■主催:九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)、韓国産業団地公団 ECO 事務局

※通訳は事務局で手配いたします。

※詳細はK-RIPホームページをご参照ください。

「専門家派遣事業」のお知らせ

～仕事でお困りの方に専門家を派遣します～

K-RIPでは、昨年度に引き続き「専門家派遣事業」を実施いたします。

この事業は、K-RIP会員企業の皆さまを対象に、現在直面している課題に対する助言・情報提供を行い、課題解決の支援を行うものです。申込をいただいた会員の皆様を訪問して相談を受け、専門家によるアドバイス等の支援を実施いたします。

・ **実施期間**

平成20年6月16日(月)～平成21年2月20日(金)

・ **申込み方法**

K-RIPホームページ(会員限定サイト)からお申込みいただけます。
お申込み後、事務局で専門家を選任し派遣いたします。

・ **費用**

無 料 (ただし2回目まで)

・ **相談対応者(専門家)**

(社) 日本技術士会九州支部
監査法人 トーマツ 等

平成 20 年度専門家派遣事業派遣実績

派遣先企業名	派遣目的	派遣月日	派遣専門家
(株)日本リモナイト	選鉱くずを利用した脱硫剤の開発	7月31日 8月1日	松原 好直
みやま市シルバー人材センター	剪定木屑および草の堆肥化・製品化	8月16日	齋藤 清美

編集後記

九州環境クラスター大学を宮崎県延岡市宮崎県むかばき青少年自然の家で開催いたしました。むかばき青少年自然の家は行徳山の麓に位置しています。宮崎県の受講生の方々に聞いてみると、過去に一度は利用したことがあるそうです。「十数年ぶりに訪れて、昔来たことを思い出し、懐かしく思います。」と語った受講生もいました。自然に囲まれ、大変環境によい場所で研修を受けたわけですが、携帯電話が圏外のため、連絡が取れなかったという不満の声もありました。現代は文明の機器なしではとても生活が出来ないことを物語っている一例だと思いました。受講生は帰社してから山積みになった仕事に大変苦労したことと思います。しかし繁忙な生活の中であるだけに今回のクラスター大学は自分の生活を見直す切っ掛けにもなったのではないのでしょうか。

(本紙 記)

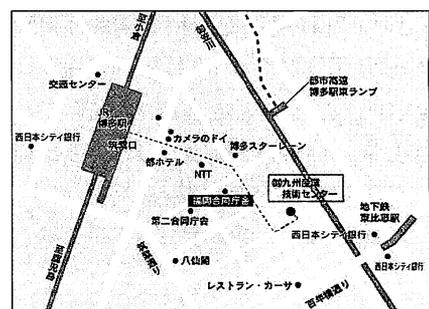
[Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza] (K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
(財)九州産業技術センター内
TEL 092-474-0042
FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp/>
e-mail info@k-rip.gr.jp



Industrial Cluster Project
産業クラスター計画



平成20年10月発行